

京丹波町における 須知高校の在り方

京丹波町における須知高校の在り方懇話会 第1回開催資料

令和5年7月26日（水曜日）



京丹波町 企画情報課

町の課題：人口減少

1945年 26,986人⇒1980年 19,677人⇒2020年12,907人

少子化も進行

年少人口(U14) 1980年 4,004人 ⇒ 2020年1,084人
令和4年度の出生数は50人に満たない状況

**少子化は府全体での課題
⇒京都府で公立高校改革を検討**

懇話会で導く答え

**Q 「須知高校を持続可能に」
どうしたらいいんだろう？**

町の宝である「須知高校」を持続可能としていくための議論の進め方の整理（案）

京都府の高校の状況と須知高校の現状を理解



須知高校の京丹波町での役割（期待）を考える

府の高校改革を踏まえ須知高校に期待すること



須知高校の持続可能な改革に町ができること

論点の整理（粗々）

**须知高校の京丹波
町での役割等**

将来の担い手育成としての期待

町の魅力・強みの強化（食）

町の特色あるスポーツ振興（ホッケー）

中高連携による文化継承等

**府の高校改革を踏
まえ须知高校に期
待すること**

须知高校の特色化、差別化のポイント

企業や行政との連携による事業の高次化

高大連携を踏まえた须知高校の在り方
（府立大学附属高校化を含め）

特色化を図るうえで必要な条件整備

須知高校の持続可
能化に向けて

具体的な意見や考えを収集

具体的な意見 等

須知高校の京丹波
町での役割等

町の魅力・
強みの強化
(食)

農業の担い手の確保

新たな加工品の開発 (企業連携分野)

府の高校改革を踏
まえ須知高校に期
待すること

企業や行政
との連携に
よる事業の
高次化

京丹波町と連携したPBL等の実施

地元企業と連携した高レベルな授業展開

須知高校の持続可能な改革に町・地域ができること

須知高校の持続可能な 改革へのかかわり方

- ① 持続可能な在り方を求め
るうえで、町の基本姿勢
- ② 特色化を図るうえで、
町が独自で取り組む施策
- ③ 支援に向けた
地域の体制の在り方